様式３(2020.08改)

作成日　令和　4年　3月　4日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392600124
事業所名	グルーホーム秋桜の里

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板や運営推進会議等で情報を得ている。今年も新型コロナの影響で、入居者と共に参加していた 地域の清掃活動や祭りなどは踏みとどまっている。また、小学校や保育園との交流、隣接する特養と合同で行う納涼祭り、餅つき大会は地域との大切な交流の場となっているが、滞っている現状である。コロナ禍の中、日々の散歩で挨拶を交わすことや畑作りを通して地域の風情を忘れないようにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者や家族、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員等が参加し、年6回開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で今年も書面での開催としている。10月に再開し、身体拘束廃止の取り組みや新型コロナの予防対策などの報告や質疑応答が行われた。今後も状況を確認して判断していく方向にある。参加者からの意見や要望などは職員会議等で協議してサービスの向上に活かしている。会議録は家族に送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	介護保険事業所連絡協議会のリモート会議に参加している。また、ホイップネットワークを利用しての活動や情報交換をしている。 市の担当者とは、日頃から手続きなどを通して情報交換を したり、困難な事例などの相談や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。新型コロナの影響で研修や行事にも影響を及ぼしている。作品展には入居者と一緒に作成した作品を毎年展示していたが、今年はやむなく参加を断念した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の生活の中から要望などを聞き、家族からは新型コロナの影響で、電話やリモート面会、衣類の補充などの折に聞く機会を設け、ケアや業務改善に役立てている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。毎月のお便りで入居者の様子を写真にまとめ、家族に安心を届けている。昨年度に引き続き、入居者や家族にアンケート調査をして意見や要望をまとめ、対応の改善や運営に活かす努力をしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルスの影響で今年も書面での開催としている。10月に再開したが、今後も状況を確認して判断する予定にしている。面会はマスク着用で窓越しにしたり、電話やリモート面会、タブレットや携帯、対面などその時々の状況を判断して実施している。外出自粛が続く中、少しでも外気に触れる機会を保つために土を起こして畑を作り、菜園作りを楽しめるような環境の工夫をしたが、土壌が悪くあまり成果がなかった。今後は、プランターを利用して再挑戦をし、収穫する喜びが味わえるようにしていく予定である。入居者と一緒にコロナ鍋でもできることを模索して、共に楽しめる暮らしができるように心積もりをしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									